

寒江小学校設立は、明治6年の伝統ある小学校。

人口減は政策の影響が大

農業振興地域の整備に関する法律による、転用規制

線引き都市計画による、全域が市街化調整区域であることの建築、用途規制

小学校が廃校になった場合、更なる転用規制が強化される恐れ

児童数減少の理由と更なる影響

都市計画法による富山市の線引き都市計画は昭和46年から。概ね50年間、当地は規制の対象とされてきました。

線引き都市計画は、当時の事情を知る方に聞いたところによると、よくよくどんな影響があるのかわからず、市民には暫定的なものだと説明されたいた模様です。

教育委員会はこれら行政の政策による影響を理解しているとは言えず、中山間地の人口減と同様に考えているのではないかと思われます。

全国学力調査・学習状況調査のデータ収集はあるのか

中学校進学時における、学力、体力に学校規模による差異はあるのか

徒歩通学の距離は妥当なのか

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 文科省

平成27年から変わらないが、統廃合推進の裏付けに

本紙発行に当たり

本資料は、学校再編を否定する為のものであります。

地域の皆さん、しっかり検討できるよう、私の目から見た一つの考え方をお伝えするものです。

教育委員会の言うこと全てが正解ではありません。裏付けとなる仰々しく堅苦しい表現の権威性に翻弄される必要はありません。

地域の皆さんの賛同がない限り、統廃合は進まないと説明を受けています。今後示される当初案は、あくまでも地域の皆さんのが検討する為の、叩き台だと聞いています。地域の皆さんが熟慮し、しっかり意見を述べましょう。



教育関連データとの整合性

呉羽地域における児童推移予測

全学年単学級
複式が存在

学校名	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
呉羽	18	571	18	562	17	552	17	544	17	532	17	527
長岡	6	154	6	159	6	153	6	155	6	155	6	163
寒江	6	84	6	88	6	71	6	72	6	69	6	69
老田	6	150	6	146	6	159	6	152	6	144	6	148
古沢	4	38	4	41	5	45	5	42	5	49	5	48
池田	4	36	4	38	5	40	4	44	5	44	4	40
		1,033		1,034		1,020		1,009		993		995

ポイント

対象校は、複式学級が存在する学校と全学年単学級校。
ここに地域生活圏を加味。寒江の場合選択肢はするかしないか。

組み合わせ

原則既存校舎を活用する。
寒江、老田、古沢、池田の4校で1次。2次で呉羽最終統合
通学距離は徒歩は3km以内。寒江の4割は超過。3kmも妥当か。

自治振興会、PTAにあり方について説明会

市民5千人にアンケート。8割が推進容認



富山市通学区域審議会に諮問、答申を経て基本方針策定

総合教育会議での意見を基に、教育委員会定例会での再編素案の調整・策定。

富山市通学区域審議会に諮問。※ 北部・和合・呉羽地域は11/30

その答申を踏まえ、再編計画の策定。

令和4年度以降、保護者や地域の方への説明や議論を行うための素案。

通学区域審議会とは

僅か15人で構成される有識者会議



コーホート法とは

その集団のある期間の人口変化を観察することで将来人口を推計する方法。この小集団の推計に大きな表現